



史跡
白河關跡



白河市長

鈴木 和夫

平成17年11月7日、地理的・歴史的にも深いつながりがあった白河市、表郷村、大信村、東村の1市3村による合併が実現し、新「白河市」が誕生しました。

本市を取り巻く情勢は、市町村合併という大きな歴史的变化に加え、少子・高齢化の急速な進行に伴う社会的課題、地球温暖化に伴う環境問題、ITの進展に伴う高度情報化社会の到来、市民ニーズの多様化などにより大きく変化してきており、これらの緊急を要する課題への対応が迫られています。

このような状況の中、総合的かつ計画的・効率的な行政経営を行うため、中長期的な展望に立ち、これから10年間の市政運営の指針であります「白河市第1次総合計画」を策定いたしました。

本計画では、『人 文化 自然 とともに育む のびゆく白河』を本市の将来都市像として掲げ、市民と行政の協働により白河市の限りない発展と飛躍を目指すこととしております。

私は常に「市民に信頼される行政経営の推進について」を念頭に、10年後の将来を見据え、白河市が個性を発揮し存続するために、「豊かな自然環境」「歴史的・文化的遺産」や「高速交通体系の充実」などの本市の有する魅力ある地域資源・優位性を最大限に活かしながら、着実なる市勢の進展のための各種施策を展開していくことが重要であると考えております。地元企業への多面的支援と企業誘致により地域産業の振興などを通してこれまで以上に活気みなぎるまちとして輝き続けられるよう、その実現に向けて市民の皆様とともに最大限の努力をいたす所存でございます。

また、これからのまちづくりは、地域社会を構成する市民、NPOやボランティア団体、企業などと行政がともに創り上げていくという「協働」の精神が不可欠でありますので、市民の皆様とともに「協働によるまちづくり」に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定にご尽力いただきました総合計画審議会や地域協議会の委員をはじめ、市民意識調査にご参加、ご協力いただいた皆様に対し、心からお礼と感謝を申し上げますとともに、今後ともなお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。